令7一単 塩竈市立病院外構改修(駐車場フェンス)工事

図番	図 名
A - 01	特記仕様書(1)
A - 02	特記仕様書(2)
A - 03	特記仕様書(9)
A - 04	案内図・配置図・外部仮設図
A — 05	撤去図
A — 06	表示板配置図
A — 07	表示板詳細図
A - 08	雑詳細図

塩竈市

備 考:	- 塩竈市産	業建設部まちづくり・建築課 ェ 事 名	令7―単 塩竈市立病院外構改修(駐車場フェンス)工事	図名		
	作図年月	R 7.6		Scale	No,	

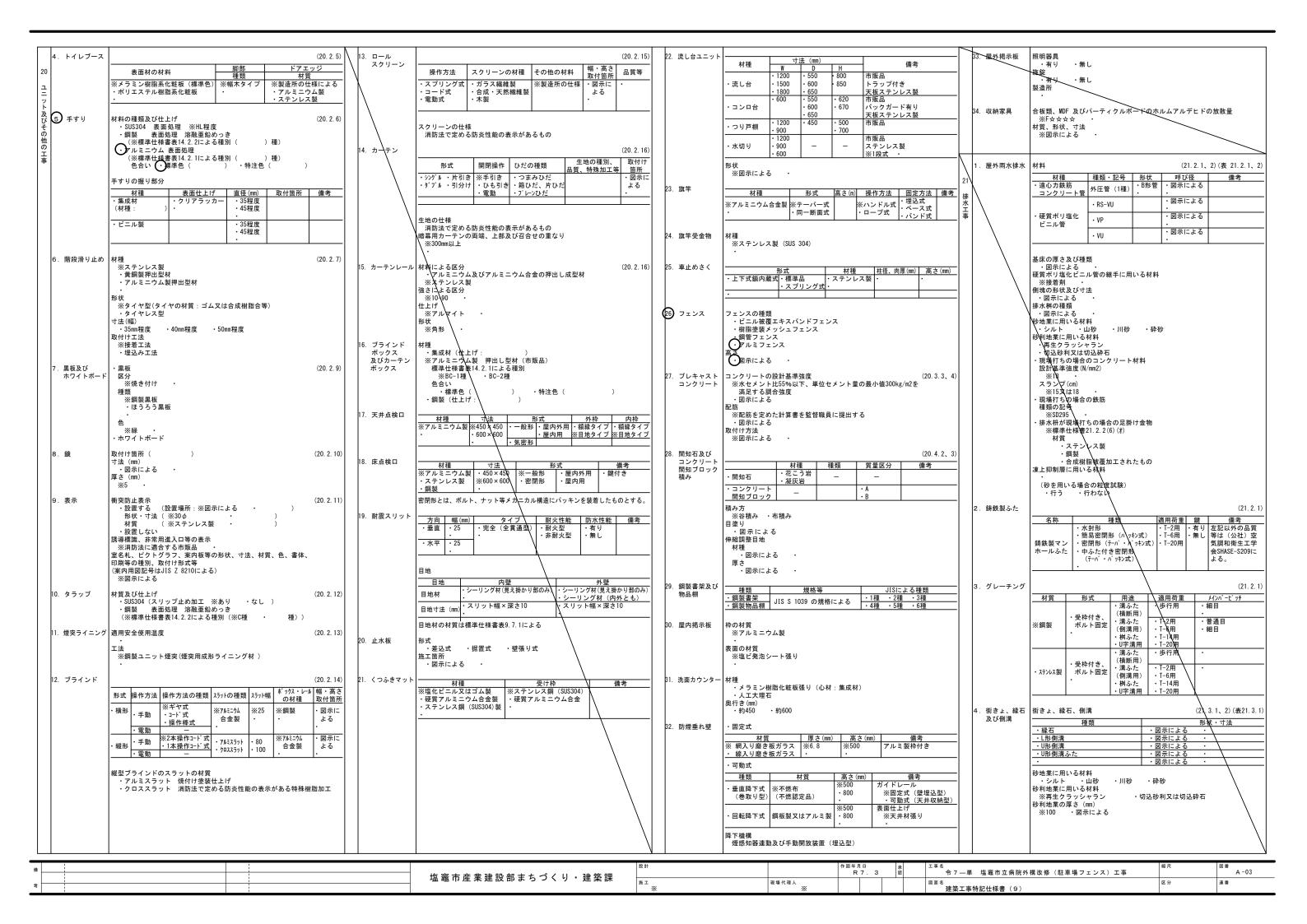
				◆屋工車	N I	
建 築 エ 事 特 記 仕 様 書 【令和6年4月版】 I エ 事 概 要 1 工事番号・名称 令7一単 塩竈市立病院外構改修(駐車場フェンス)工事	8. 建築材料等	材料の品質等 (1.4.2) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾		金属工事 ・ 内装仕上施工 (銀製下地工事作業) ・建築板金 (内外装板金作業) ・パルコニー施工 (金属パルコニー工事作業) 左官工事 ・ 左官 (左官作業) 建具工事 ・ サッシ施工 (ビル用サッシ施工作業) ・ガラス施工 (ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工作業)	1. 支持地盤	(3.2.1) (4.2.4) (4.3.4) (4.3.5) (4.4.4) (4.5.5) (4.5.6) ・杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ・図示による ・直接基礎 支持層の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ・図示による ・図示による
1 上事番号・4付 ロデーキ 塩塩ロ エカルバドは (41年号) エンハ/エデ 2 工 事 場 所 塩竈市香津町 7番 1号 3 用途地域等		を受ける。		カーテンウォール工事 ・カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業) ・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)	₱ \	・ 也然の、 地盤の 載荷試験 (平板 載荷試験) ・ 行う
都市計画区域 (・ 内 ・ 外) 用途地域 () 防火地域等 (・ 防火 ・ 準防火 ・ 指定なし ・ 22条)		環境への配慮 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシッ クハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への		・ガラス施工(ガラス工事作業) 塗装工事 ・塗装(建築塗装作業) 内装工事 ・内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事作業		試験の方法、位置及び載荷荷重は図示による
その他の地域・地区(4 主 要 用 途		影響に配慮する。		・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上工事作業	2. 既製コンク リート杭地業	
5 敷 地 面 積 6 工事の概要		ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。		・表装(壁装作業)		- 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PRC杭) - プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭)
駐車場フェンスの改修工事 ・既存搬去工事 (h=0.8~1.15m L=267m)		ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品		排水工事 ・配管(建築配管作業) 舗装工事 ・路面標示施工(・溶融ペイントハント゚マーカー工事作業		 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490
・新設工事(h=1.0m L=267m) ・表示板等更新(N=55か所) 1 式 ・雑工事(階段手摺他) 1 式		2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品		・加熱ペイントマシンマーカー作業) - 造園(造園工事作業)		杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等 種類 杭径 厚さ 杭長
・ 推工争 (階段 子 信 他)		a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ	② . 完成図等	営繕工事完成引渡要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)	\	種類 杭径 厚さ 杭長 継手数 セット数 長期設計支 持力 (kN/本) 備 考 上杭 上杭
/ /// M		ない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	9 . 无成因等	により作成する。		試験杭 中杭 下杭
- エ期は令和8年3月12日まで ・6工区に分割して工区毎に施工する。		e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない塗料使用		※ 白焼A 4 版折製本 (黒表紙金文字入) 1部 ※ 白焼縮小 (A 3 版) 2 つ折製本 2部		上杭 中杭 下杭
・工期内に完成検査を受け、手直しまで完了すること。	9. 室内の空気中の化学物質濃			※ 完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ 及びPDF形式 DVD-R等2部		
9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。 ・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書	度の測定	と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製 造所の定める仕様により行う。	19. 完成写真	※ 作成する ・ 作成しない 営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは		
解体工事特記仕様書 電気設備工事特記仕様書 機械設備工事特記仕様書		測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 μ g/m3 ・ 0.08ppm) ※ スチレン (濃度指針値 220 μ g/m3 ・ 0.05ppm)		別に次のものを原本(電子媒体)とともに監督職員に提出する。 なお、原本は、DVD-R等で提出すること。		杭先端部形状 ・開放型 ・半開放形 ・閉そく形
Ⅲ 建築工事仕様 1.共通仕様		※ トルエン (濃度指針値 260 µ g/m3 · 0.07ppm)※ エチルヘンセン (濃度指針値 3,800 µ g/m3 · 0.88ppm)		分類 サイズ 撮影箇所数 部数 提出様式 ※カラー ※L ※営繕工事写真 ※工事用アルバムA4版		工法・セメントミルク工法
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の 「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、 標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)(以下		※ キシレン (濃度指針値 200 μ g/m3・0.05ppm) 測定する室等: ()		・白黒 ・2 L 撮影要領の ※2部 ポケット式程度 ・六切り 完成写真程度 ・部 ・フリーアルバム		・ 図示による ・ 特定埋込杭工法
保学に保書に記載されているい事が見ば、「公共建築木造工事保学に保書(令和4年版)」(以下「木造「改修標準仕様書」という。)「公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通		採取方法:吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。		* 箇所 枚 (台紙寸法323×270程度)		・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α = 250 名採用できる工法 ・図示による
仕様書」という。)による。 なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。 2. 特記仕様		測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を1部提出する。	16. 設備工事との	アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。 施工範囲 各工事の区分表による。		・上記以外の特定埋込杭工法 ・図示による 工法 ・プレポーリング拡大根固め工法
1) 項目は、番号に〇印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、〇印のついたものを適用する。〇印のつかない場合は※印のついたものを適		a 測定結果 b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内),天候、風の状況,	取合い	施 工 図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して 監督職員の承諾を受ける。		・中堀り拡大根固め工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
用する。①印と②印のついた場合は、共に適用する。 3)特記事項に記載の()、<>>及び[]]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、 「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		日射進入状況,測定年月日・時間,窓の開閉状況,機械換気量,工事 完成時から測定日までの日数)	① . 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険		杭の精度 水平方向の位置ずれ
章 項 目 特 記 事 項		c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。		保険期間 ② 工事着手から工事目的物引き渡しまで		・ 杭径の1/4か 3 100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 評定等の評価内容による
 → 一般事項 一般事項 上海正中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 受法者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の 		例上列象例員が指載地で起える機及で検出された場合は、 引放は交けない。 ・ 総揮発性有機化合物の測定	18. 住宅瑕疵担保 責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ・あり (新築住宅の場合) ・なし (新築住宅以外の場合)		・1/100以内 ・計定寺の計価内谷による 杭の継手の工法
円滑な進捗をはかること。 ── 施工体系図を現場に掲示すること。		測定方法、測定物質及び測定か所等については、この仕様書の末尾に 定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。	① 仮囲い	② 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。		・アーク溶接継手 溶接材料
般 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の 状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督		※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、 施設管理者に依頼する。	0. 10. 10.	・キャスターゲート (H= , W=) × 箇所 ・シートゲート (H= , W=) × 箇所		・標準仕様書7.2.5(↑)(2)による ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
週 事 項 総員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による ※調査に先立ち調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること	□ 特別な材料の		仮 2. 危害防止	○A型パリケード程度(作業範囲)※ シート張り・ 金網養生		工法 ※評定等を受けた工法
※ 図示 ② 適用基準等 ② 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)	工法	法は、当該製品の指定工法とする。	設 工 ③ 交通誘導員	○ 配置する(36日 × 1人 = 36人日) ※ 配置しない		杭頭の処理等 ・処理しない
□	11. 建築基準法による風圧力等	適用工事建築基準法の指定	4. 揚重機械器具	・ トラッククレーン (t 吊り) × 日 ・ (t 吊り) × 日		・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む)
	の指定	・ 合成高分子系ルーフィングシート工法 風速(V0) ※30・ ・ 外壁乾式工法・ 長尺金属板葺 地表面粗度区分・ II ・ III ・ 折板葺・ 粘土瓦葺 参雪地域の指定・ 有 ・無	5.監督職員事務所		3. 鋼杭地業	・図示による・ (4.2.2)(4.4.3)~(4.4.6)
(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年度版) ・ 建築構造設計基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和3年版)		・ ガベ耳・ 柏工八耳 ジョルダの旧足 で 無	O. m. a 444, 9, 747, 77	 ・設ける(規模 m程度 請負者事務所と同棟 ・可 ・否) 備品() 	3. 婀似地 木	鋼杭の材料 ・図示による
3. 概成工期 エ事工期より 日前 (1.2.1) (1.2.1) ※ 適用する (請負精算額が500万円以上の場合) (1.1.4)		・ ガラスブロック ・ 屋上緑化	⑥ 工事表示板	※ 設置する ・ 設置しない		杭の種類、寸法、継手の箇所数等 種類 旅径 厚さ 杭長 継手数 セット数 長期設計支 備 考
(CORINS)の 登録 学注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、 登録 学注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、 契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテ	12. 設計G.L.	※ 図 示 · 現状平均地盤高		塩竈市型		上杭
の受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない	③ 技能士	(1.5.2) ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配	7. 事業コスト 表示板	・ 設置する(5億円以上の工事が対象) ・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領(令和6年4月1日宮城県		試験杭中杭下杭上杭
5. 発生材の 発生材の処理 (1.3.11) 処理等 ・引渡しを要するもの (* 「我で放配」を適用することとした職種に、「級又は単一級放配」を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能		土木部営繕課・設備課制定)による。		本杭中杭
・特別管理産業廃棄物 (受入れ施設名・所在地(km)		士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。	③ 工事用水 〇 工事用電力	構内既存の施設・利用できる(※有償・無償) ❷ 利用できない ##中匹左の体記・利用できな(※方標・無償) ◎ 利用できない		
・再生資源化を図るもの 種類 受入施設名 所在地 (Km) 備 考 ・セメント		工事種目 技能検定職種(技能検定作業) 仮設工事 企び(とび(生) 鉄筋工事 鉄筋矩工(鉄筋組立作業)	① 工事用電力10. 工事用通路	構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ・無償) ※ 指定しない ・ 指定する (図示)		特定埋込杭工法
・ セメント コンクリート塊 ・ アスファルト			11. 足場等	(2.2.4)		特定性込机工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法 ・図示による
コンクリート塊 ・ 建設発生木材		鉄骨工事 ・鉄工 (構造物鉄工作業) コンクリートブロック ** ・ブロック 建築 (コンクリートブロック工事作業)		足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工		・上記以外の特定埋込杭工法・図示による 工法
建設汚泥 ・現場において再利用を図るもの()		・ PHIR R サイメント板工事 ・ A L Cパネル施工 (A L Cパネル工事作業) 防水工事 ・ 防水施工 (・アスファルト防水工事作業)		法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場 に関する基準」によること。		・() (前の継手の工法
・その他の廃棄物 (安定型) (受入れ施設名・所在地 (km)		・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・全はゴム系シート防水工事作業	1. 埋戻し及び	種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (3.2.3)(表3.2.1)		・アーク溶接継手 形状 ・JIS A 5525による
・その他の廃棄物(管理型)(受入れ施設名・所在地(km)		・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業	盛土の種別	TA TA TA TA TA TA TA TA		715 A 39.51による
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定する ものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。		・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ防水工事作業	土 2. 建設発生土の	構内指示の場所に敷きならす。 (3.2.5)		・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。 6. 電気保安 ・ 適用する ※ 適用しない (1.3.3)		「FRP防水工事作業」) 石工事 ・石材施工(石張り作業)	事 処理	・ 構内指示の場所に歩い積する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。		※評定等を受けた工法 杭頭の処理等
技術者 (1.3.3) 第 本		タイル工事 ・タイル張り (タイル張り作業) 木工事 ・建築大工 (大工工事作業) 屋根及びとい工事 ・建築板金 (内外装板金作業)	3. 有害物質含有	受入れ施設名・所在地 (km) ・ 有害物質の含有を調査する。		
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するととも に、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに 監督職員に提出する。			調査	調査範囲及び項目 ※図示		処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による
血目物界に成出する。						
備		│ 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆		作図年月日 末 工事名	—単 塩竈市立病院	外構改修(駐車場フェンス)工事
*		I		M = 1 M =		に カー 産田

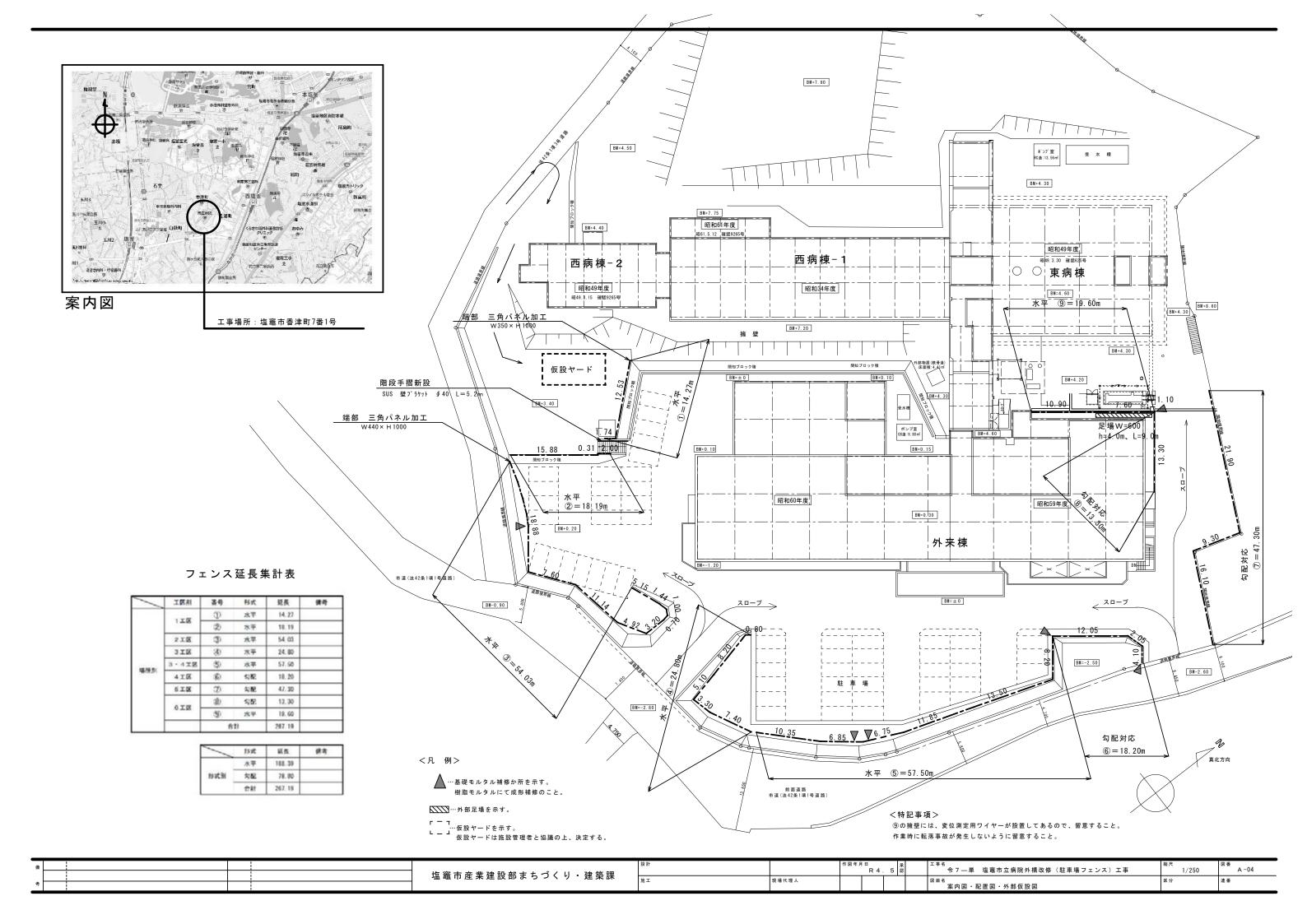
図面名 建築工事特記仕様書 (1)

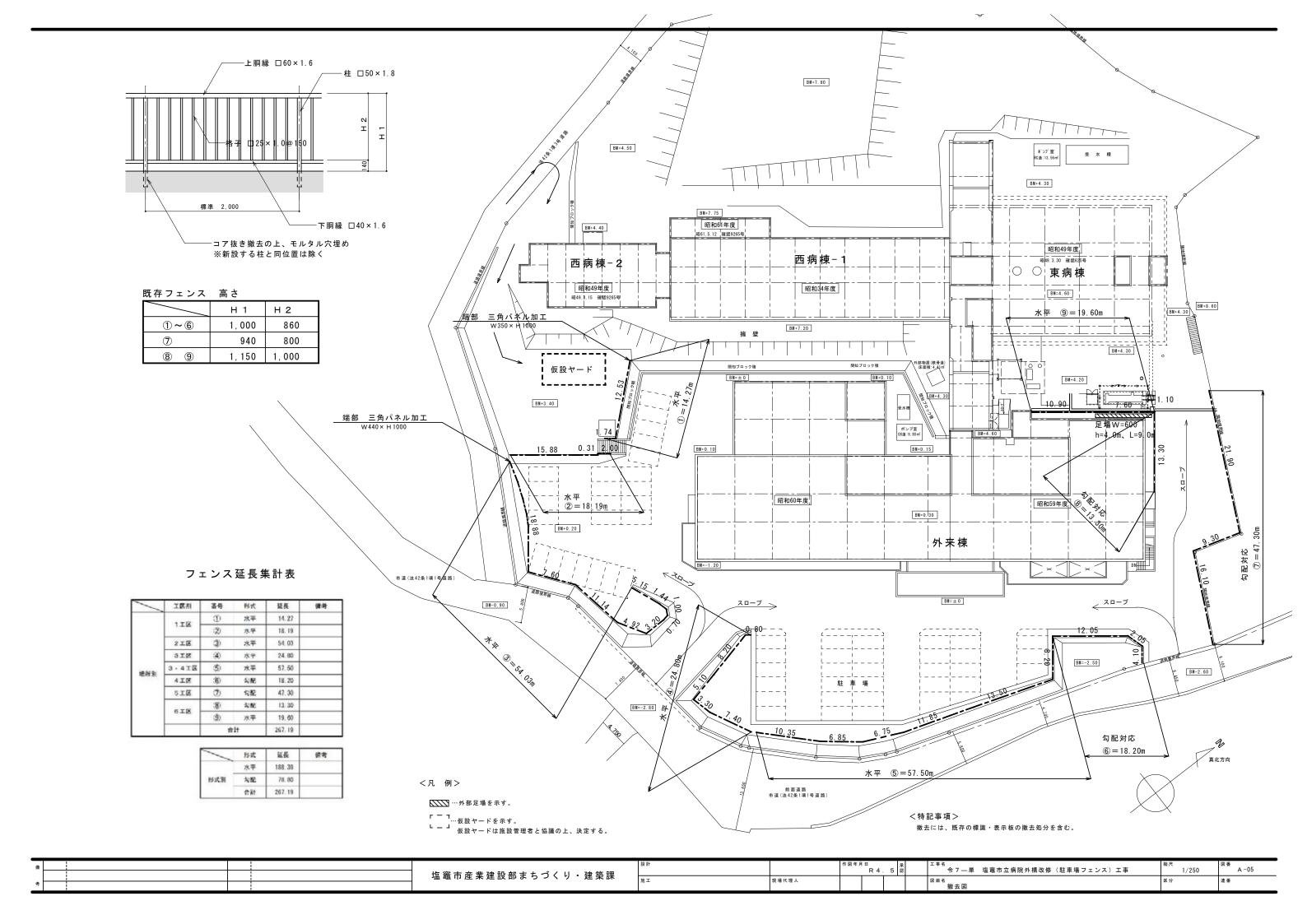
区分

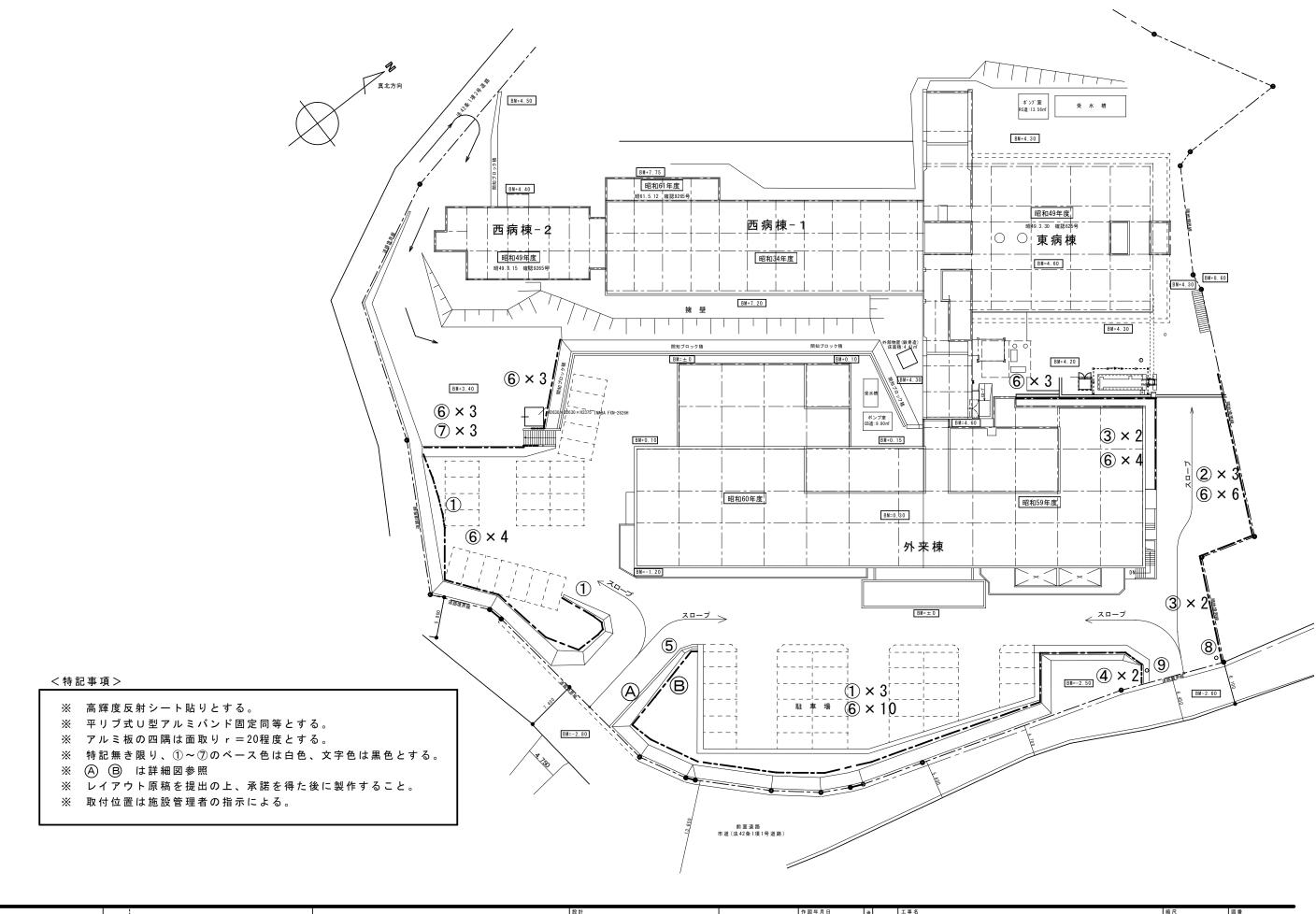
				\			
4. 場所打ちコン クリート杭 地業	(4.5.1) エ法 ・アースドリルエ法(安定液 ※使用する ・使用しない)	6. 特殊な鉄筋 継手	適用箇所 ※図示による	.5.1~5.5) 1. 鉄骨の製作工場	(7.1.3) ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下 記のグレード以上の工場	15. 溶接部の試験	溶接部の外観試験 (7.6.12) 平12建告第1464号第二号に関する試験方法等 ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2
地業工	・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない) 併用する工法		性能(H12建告第1463号に適合するもの) ・A級・・ 機械式継手の種類(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	鉄骨工	 ・ S · H · M · R · J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場 ※ 施工監理技術者(※配置する ・配置しない) (7.1.4) 		受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準 の付表3 「溶接」に関する試験方法等
事	・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ・ ・拡度杭工法(安定液 ・使用する ・使用しない)		鉄筋相互のあき ※図示による 施工完了後の試験 ※図示による	事 2. 鋼材の種別	※ 施工監理技術者(※配置する・配置しない) (7.1.4) 種類の記号 適用箇所 規格		 ・JASS6 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
	・ 対法等 ・ 図示による			. 6. 1~6. 5)	MRTION		元・10による 110に、 行品級
	. 孔壁測定 ・行う 測定方法、測定箇所は図示による		※図示による ・ 性能(H12連告第1463号に適合するもの) ・A級	3. 高カボルト	高カボルトの種類 (7.2.2)	16. 錆止め塗装	工場溶接 ・2.5 ※4.0 ※6・ 塗料の範囲 (7.8.2) (7.8.4) (18.3.2)
			機械式継手の種類(鉄筋相互のあき ※図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		※ トルシア形高カボルト・ JIS形高カボルト・		耐、被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
	鉄筋 0 最小かぶり厚さ ・図示による セメントの種類 ※高体セメントB種 ・		施工完了後の試験 ※図示による		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による すべり試験の実施 (7.4.2)		※標準仕様書7.8.2(1)による ・図示による 塗料の種別 ・下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による
	コンクリートの種別 ・A種 ・評定等の評価内容による スランプ	7. 各部配筋	各部の配筋は、図示による。図示がなければ、標準仕様書 末尾 資料の「各部配筋 参考図」による。	4. 普通ボルト	・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない ボルト及びナットの材料 (7.2.3)		・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの 内側の錆止め塗料の種別 ※A種・
	・18cm 21cm 21cm コンクリートの設計基準強度 ()N/mm2 構造体強度補正値(S)・3N/mm2 評定等の評価内容による	8. 柱の帯筋 9. 耐震壁を除く 壁の開口部補強	※ H形 ・ W-I形 ・ SPN (参考図 ・ A形 ※ B形 (参考図 表	図 図2. 2) ₹4. 3~4. 4)	・標準仕様書 表7.2.3による 座金 標準仕様書7.2.3(4)による ポルトの径	17. 耐火被覆	・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別 ・ (7.9.2~8)
5. 砂利地業	材料 (4.6.2~3) 砂利 ※ 再生クラッシャラン	型の閉口部補強 10. はり貫通孔の 補強	補強形式 ※H3形以上 ·M型 ·MH型 (参考図 表	₹7. 1~7. 3)	・ 図示による ボル Aの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示による	17. 删1入1汉亿	種別 材料 工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ・・乾式吹付け口・シウール
	範囲 ・基礎下、基礎梁下、土間 ラブ下、土間コンクリート下・図示による	11. 圧接完了後の 圧接部の試験	外観試験 ※ 行う(全数)	(5.4.10) 5. 溶融亜鉛めっき 高カボルト	溶融亜鉛やっき高力ボルトの径		- 耐火材 吹付け - 湿式ロックウール
	厚さ ※60mm ・		抜取試験 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による 摩擦面の処理方法 (7.4.2)		 耐火板張り ・耐火材 ・高断熱ロックウール
6. 捨コンク リート地業	範囲 ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下 ・図示による 厚さ	① コンクリート の種類	種 別 ※ I類 ・ I類 (6.2.1)) (表6.2.1)	・ブラスト 処 理 (表面粗度50 μ mRz以上)		巻付け ・ラス張りモ ルタル塗り
	※50mm : 設計基準強度 ※18N/mm2 : スランプ	②. 設計基準強度	普通コンクリート Fc (N/mm2) 適 用 箇 所 ・ 2 4	(6. 2. 2)	すべり試験の実施 ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない 構造用アンカーボルト (7.2.4)	18. アンカーボルト の設置等	<u>・耐火塗料</u> 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による (7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1)
7. 床下防湿層	グリ 材料		· 21 ① 18	0. 75% /////	# 種類 * ABR490 ・ ABR490 ・ 建方用アンカーボルト	の改旦寺	構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による ・理方用アンカーボルトの形状及び寸法
	※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・		構造体強度補正値 ※標準仕様書表6.3.2による 軽量コンクリート Fc (N/mm2) 適 用 箇 所		種類 ・ SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度		・図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種
8. 地盤改良工法	種類及び施工方法等		構造体強度補正値 ※標準仕様書表6.3.2による		・標準仕様書 表7.2.3(こよる ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による		構造用アンカーボルトの形状及び寸法 厚さ ・ 種別 ※A種 ・B種
9. 置換コンク	・図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	③ スランプ	基礎, 基礎梁, 土間スラブ ※ 15 cm · 18 cm (6.2.4) 柱, 梁, スラブ, 壁 ◎ 18 cm	7. 溶接材料	溶接材料 (7.2.5) ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による	19. 軽量形鋼構造	ボルトの接合部 ・普通ボルト接合 · (7.1) 2)
リート地業 (ラップルコンク リート地業)	・図示による 支持地盤 ・図示による	4 セメントの 種類	セメントの種類 適用箇所 ※ 普通ボルトランドセメント、高炉セメントA種、 建物躯体(下記以外)	(6.3.1) 8. ターンパックル	種類 (7.2.6) 建築用ターンバックルボルト	1. 補強コンク	プロックの種類 断面形状及び圧縮 正味厚さ モデュール呼び寸法 強さによる区分 (mm) 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備 考
			ジリがたメントA種又はフライアッシュをメントA種 ・ 高炉セメントB種 基礎、地中梁 ・ フライアッシュセメントB種 基礎、地中梁		※羽子板ボルト ・ 8 建築用ターンバックル胴 コンパックル胴 ※割枠式 ン	押	強さによる区分
1. 鉄筋	鉄筋の種類等 種類の記号 呼 び 径 (mm) 備 考	⑤ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ・A ・B	(6.3.1) 9. 床構造用の デッキプレート	材質、形状及び寸法	成型セ	各部の背筋 ※図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
鉄筋工	X SD295 X SD345	6. 軽量 コンクリート	種類 (6.10.1)	(表6.10.1)	・デッキブレート 単独の構法 ・デッキブレートと コンクリートとの合	メント 板	目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ※図示による ・
2. 溶接金網	(5.2.2) 鉄線の形状等	無筋 コンクリート	適用箇所 ・標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所	(6. 14. 1)		エ 事 2. コンクリート ブロック帳壁 及び塀	プロンクの種類 (8.3.2~4)(表8.3.1) 断面形状及び圧縮 正味厚さモデュール呼び寸法 強さによる区分 (mm) 長さ 高さ 化粧の有無 (表8.3.1)以外 の適用箇所 備 考
	種類 種類の記号 形状、網目寸法、径 (mm) 使 用 部 位 ・溶接金網 ・鉄筋格子		・図示による 設計基準強度 ※318N/mm2		開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・図示による・ 鉄骨部材への溶接方法・ル		※空洞ブロック C(16) ・無 ・有
3. 鉄筋の継手	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)	O +7600 +2 ~ 1+ m	スランプ ※15cm又は18cm ・ ************************************	1) (0.7.2)	・図示による 耐火認定 ・あり 耐火時間 ・あり 耐火時間		・
	種類 種類の記号 継手の方法 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 ※ガス圧接・機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手・重ね継手 ※1016以下		打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8. ※標準仕様書6.6.4(1)による ・図示による 目地寸法 ・探律性性書9.7.3(1)(ア)による ・図示による	. 1) (9. 7. 3)	・なし 種類等 「呼 び 名 「 呼び長さ (mm)	3. ALCパネル	各部の配筋 ※図示による・ (8.4.2~5)(表8.4.2~4)
	をの他の鉄筋() 重ね継手・ 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ		ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・図示による			5. A E 57 1970	区分 単位荷重(N/m²) 厚さ 幅 及び 耐火性能 構法の 長さ (時間) 正荷重 負荷重 (mm) 長さ (時間) 種別 図示に ・なし ・ A種
	※図示による 継手位置 ※図示による	9. 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)	(6.8.1) 11. 柱底均しモルタル	無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※標準仕様書7.2.9(2)(ア)から(エ)による		プログラ
4. 鉄筋の定着	耐力壁の重ね継手の長さ ※図示による 鉄筋の定着長さ (5.3.4)	10. 型枠	・10mm ・20mm ・ せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm ・)	(6.8.2) 12. 仮組	仮組を行う範囲 ※図示による・・ (7.3.10)		・屋根用 — - ・ ・ ・ ・ 図示に ・0.5 × る ・
	SMMの足有をで ※図示による ・		・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ※図示による ・MCR工法用シート	13. 溶接技能者の 技量付加試験			・床用 -
厚さ及び間隔	※図示による ・ 軽量コンクリートを適用する場合 ・ 有り(※図示による) 適用箇所()		適用箇所 ※図示による ・ 打増し厚さ ・20mm ・ 打増し範囲 ※図示による ・	14. 溶接接合	開先の形状 ※図示による ・ (7.6.4) (7.6.7) 鋼製エンドタブを切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による		パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による 目地幅 ※20mm
	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・有り(※図示による) 適用箇所(スリーブの材種・規格等 ・図示による		切断範囲・スカラップの形状 ※図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない
備			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	作図年月日 R 7.3 認	纟 塩竈市立病院外	構改修(駐車場フェンス) 工事 縮尺 図番 A-02

備	塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計		作図年月日 R7.3	承認	^{工事名} 令7―単 塩竈市立病院外構改修(駐車場フェンス)工事	縮尺	図番 A-02
考	塩 龍 印 佐 未 廷 政 印 ま ら り く り ・ 廷 宋 妹	施工 ※	現場代理人 ※			図面名 建築工事特記仕様書 (2)	区分	連番



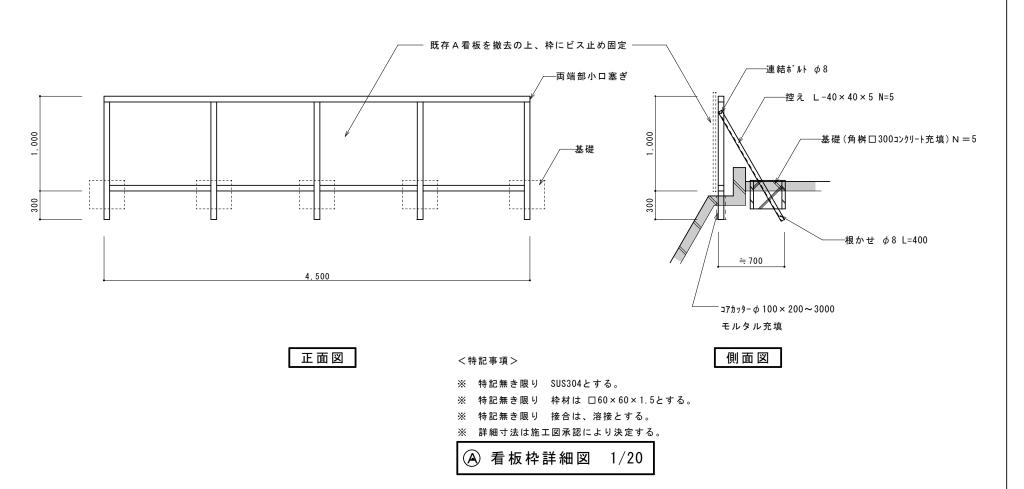


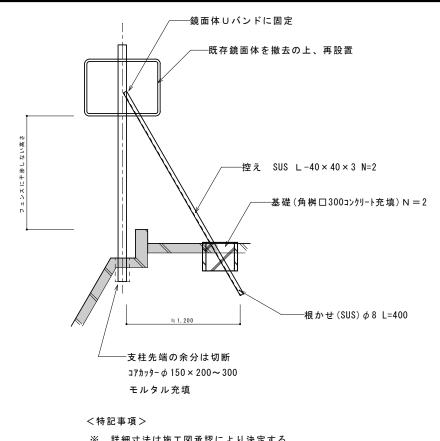




備		設計		作図年月日	D / 5	承 認	エ事名 令7―単 塩竈市立病院外構改修(駐車場フェンス)工事	縮尺	図番 A-06
	塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	施工	現場代理人				図面名	区分	連番
考							表示板配置図	I	

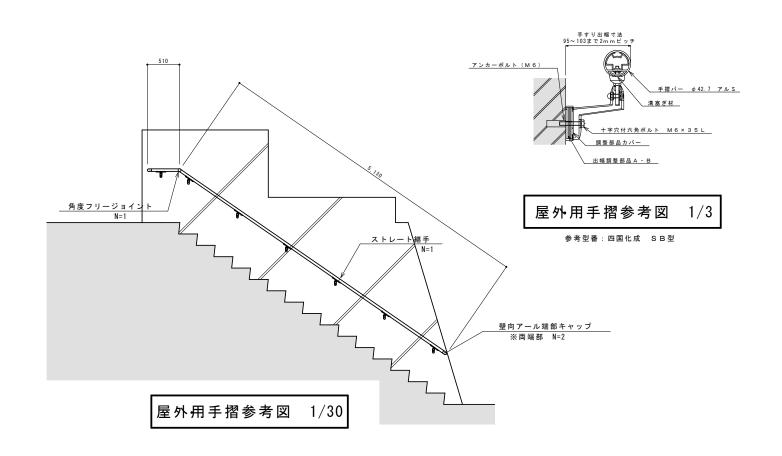
① W900×H800 5枚	② W600×H400 3枚	③ W800×H600 4枚	④ W900×H450 2枚
	<注 意> 板道ですので、ドアの開閉 は注意してください。	< 駐車禁止> この付近は、火災発生時に消火活動の妨げとなるので、駐車禁止とします。 塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・塩塩・	<来院者の専用駐車場> 当院ご利用の方以外の駐車は お断りします。 塩流市立風険管理者
⑤ W1800×H1000 1枚	⑥ W300×H200 33枚	⑦ W600×H400 3枚	8 標識 1基
※ 矢印は赤色とする 正面玄関 夜間受付 駐車場	<注意> 危険ですので、フェンスに 表りかからないで下さい。 わ立条所言なる	応援医師用 駐 車 場	正まれ 2/3倍 案内標識 600×400 標識柱 φ60.5 7)2.3 L=3600 ※ 亜鉛メッキ支柱とする。
⑨ 進入禁止標識板 1基			根かせ
 ・更新対象 進入禁止標識板 (1倍) 補助標識 リバンド、ボルト他付属品 1式 ・対象外 支柱 			案内標識 詳細 W600×H400 ***********************************
	数:	† 作図年月日 末 エ R 4 . 5 認	^{事名} 令 7 一単 塩竈市立病院外構改修(駐車場フェンス)工事 ^{総尺} A-

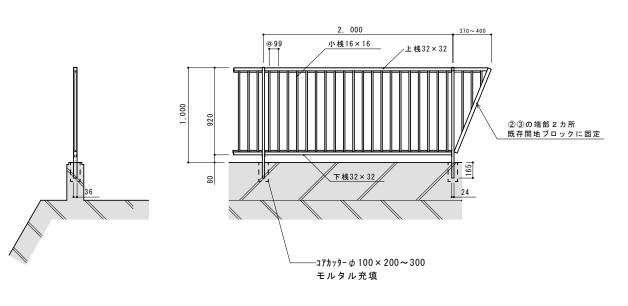




※ 詳細寸法は施工図承認により決定する。

B カーブミラー詳細図 1/20





<特記事項>

- ※ 特記無き限り、フェンスはアルミ製とする。
- ※ フェンスは、水平曲り・縦断勾配に対応可能なものとする。
- ※ 転落防止能力は考慮しない。

フェンス参考図 1/20

参考型番:LIXIL ハイサモア T-10

備		- 塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	作図年月日 R 4 . 5 数	承 認	エ事名 令7―単 塩竈市立病院外構改修(駐車場フェンス)工事	縮尺図示	図番 A-08
l		」 塩黽川性未建設部まりづくり・建業誌	施工	現場代理人		図面名	区分	凍 悉
考			85 -	30 -80 TV -E-X		推詳細図		-